

大分大学生協同組合 第57回通常総代会開催のご報告

■日時 2023年5月25日(木) 午後6時30分～午後7時40分

■場所 学生交流会館ビ・フォーレ(食堂)

■総代総数102名、出席84名(本人22名、書面62名、委任0名)

<総代会議案>

第1号議案 2022年度事業報告書・決算関係書類等承認の件

第2号議案 2023年度事業計画及び予算決定の件

第3号議案 役員報酬決定の件

役員選挙の件

- ・事前に40名の総代さんから意見や質問が出され、理事会のまとめの中で主なものに回答しました。
- ・全での議案が賛成多数で承認され、役員立候補者全員が信任投票で当選、就任されました。



財務状況

単位：千円

損益状況

単位：千円

流動資産	365,692	流動負債	226,099	供給高(組合員利用高)	603,883
現金預金	177,833	買掛金	39,611	供給剰余金(粗利益)	128,213
供給未収金	22,007	前受金	111,440	手数料収入	73,022
商品	41,150	その他	75,048	事業総剰余	201,236
前渡金	103,668	固定負債	22,765	人件費	129,416
未収金	17,684	退職給与引当金	19,207	物件費	100,510
その他	3,350	組合員出資金	105,052	事業経費計	229,926
固定資産	33,397	剰余金	45,172	事業剰余金	-28,690
有形固定資産	11,613	法定準備金	420	事業外収益・費用	12,877
無形固定資産	470	当期末処分剰余金	44,752	経常剰余金	-15,813
その他固定資産	21,313	うち当期剰余金	64,004	特別利益・特別損失	80,515
資産合計	399,089	負債・総資産	399,089	法人税等	696
				当期剰余金	64,004
				当期末処分剰余金	44,752

- 授業が原則対面になったことで来店数が昨年より約12万人(+35.4%)増加する一方で、組合員の利用高は+537万円、+0.9%増加にとどまりました。新入生のパソコンや英語講座など新学期事業の利用が後退したことや、前期の店舗利用が伸長する一方で、後期の利用回復が進まなかったことが主な要因です。自動車教習所や公務員講座の利用は大きく伸長しています。
- 手洗いやアルコール消毒、こまめな換気、ビニルカーテンを設置に加えて、大分県「安心はおいしいプラス」の認定店として食堂テーブルにアクリルパーテーションを設置するなどの感染対策を継続してきました。コロナ禍で自炊をする機会が増え、米、卵、野菜、バナナなどの利用も引き続き好調です。
- 大学生協の共済連合会をコープ共済連に事業譲渡をして得られた剰余益が大分大生協にも分配され、コロナ禍で大きく傷ついた経営支援として役立てました。その結果、当期剰余金は6,400万円の黒字で終わられたことで累積赤字1,925万円が解消され、最終的な税引後の剰余金は4,475万円となりました。
- 2023年度も利用状況に応じた経費抑制とムリムダの排除をすすめ、新レジシステムと生協アプリの安定的運用と利便性向上に努めながら、混雑緩和や新しい大分大学グッズの開発など組合員の新しい利用機会の創出を目指します。供給高予算は6億7,900万円(対前年+11%)ですが、経常剰余は最賃改正や物価高騰を考慮して△874万円としていますが、利用伸長と効率運営に努めて、±0円を必達目標としています。
- 総代会終了後の第1回理事会において、理事長：松隈久昭先生(経済学部教員)、専務理事：磯崎修治(生協職員)が互選されました。

これから1年間、よろしくお願いいたします。

大分大学生協同組合 2023年度理事会